

志岐高便り

第209号

発行責任者
濱野 正義



携帯
サイトへ

長崎県立志岐高等学校
[TEL] 0920-47-0081

長崎県志岐市郷ノ浦町片原88
[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言



「なぜ、英語の先生に？」

教頭 田中 清



3月13日(月)、「卒業生体験発表・座談会」で、進路を決めた卒業生から新2・3年生に進路選択・進路実現、いや人生の選択について話してくれました。話す方も聞く方も非常に真剣でした。

そこで私事ですが、私が22歳で高校の英語教師になって、もう四半世紀になりますが、最終的にそこに至るまでに様々な選択がありました。まず、小学生の時に6年生の担任だった片淵先生に憧れます。ソフトボールが上手で、授業が分かりやすく、厳しいけど温かくて、先生というよりも立派な大人だなあと、尊敬していました。そういう大人になりたいなあと。それで小学校の先生になりたいなあと。

中学生になります。美術の授業で、木彫盆の作成をします。彫刻刀で彫っていくわけですが、それが楽しくて、先生から褒められてすごく嬉しかった。小学生の頃から絵を描くのは好きでしたので、美術の先生になりたいと真面目に考え始めます。それが中学校2年生の前半まで。そこから体育の先生に憧れます。野球部に所属して、一生懸命に練習しました。すると上達するものです。野球で身体ができていくと、サッカー、バレーボール、水泳など様々なスポーツの面白さをより感じるようになりました。

高校に入学します。志岐高だより7月号に書いたように8月の実力テストで英語29点という結果を出してしまいます。その後、英語に真摯に向き合って英語の面白さと奥深さを理解していきます。そして、高校3年生の大学受験を迎えます。私の時はセンター試験でしたが、私はA日程とB日程という入試形態で、2つの国公立大学を受験しました。どちらも教育学部でしたが、A日程では英語科専攻、B日程では小学校課程を受験しました。どちらにも魅力を感じていましたが、結果として英語科専攻に進みました。

そして、大学生。私の先輩の中には教員になる方も多かったのですが、旅行代理店、商社、銀行など一般企業に就職する先輩もいて、私も商社に勤務して世界中で仕事をするということにも憧れを持つようになります。高校教師になるか、ビジネスパーソンになるか、大きな選択です。どうやって決めるか。私は決断します。大学2年の中頃、TOEIC(企業に勤める場合の英語の資格試験で600点以上あれば履歴書でアピールできると言われています)の目標点を設定し、それを超えたら商社に、届かなくても、それに向けて勉強すればさらに英語力がつくから、教員採用試験に切り替えて、現役合格をしよう、と。結果は、私の目標点には到達しませんでした。ただ、自分で決断し、しっかり準備して、挑戦したので、悔いはありませんでした。そして、高校の英語教師になりました。

今となっては、教師になって本当に良かったと思います。五貫先生や体育科の先生方と話すのはすごく楽しいし、野球部やサッカー部やバドミントン部や書道部など顧問をしながら一流の人たちと交流したり、懸命に取り組む生徒たちに出会えたりと、本当に幅の広い充実した人生を送れています。言うまでもなく、英語を学び、教えることが、最高の喜びです。

「置かれたところで咲きなさい」、ですね。





壱岐な未来創りプロジェクト
SDGs対話発表会

2月23日(木)、壱岐の島ホールにて、市内小学生、中学生、高校生、市民が取り組んでいるSDGs活動の発表会が行われました。本校からは、ヒューマンハート部を中心に4チームが参加し、日々の探究の成果を堂々と発表しました。



【発表テーマ】

●マッチングあぐり

(チーム 何でも手伝い隊)

農業ボランティアを募って人手不足の農家を支援するためのアイデア。

●さけかすクラッカー (チーム スピリッツ)

島内で大量廃棄される酒粕を有効利用するためのアイデア。

●IKITIVITY (チーム nature)

元島民が友人を連れて帰島し、素敵なおBBQを楽しんでもらうことによる島振興のアイデア。

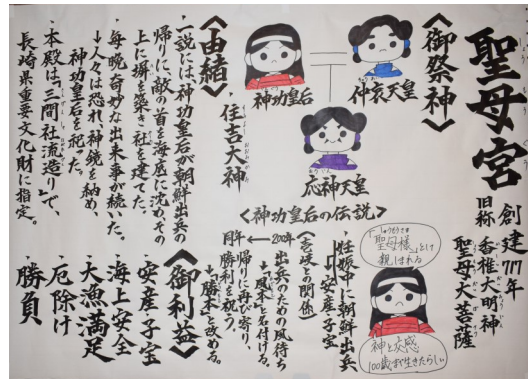
●神社エール (チーム みこーず)

神社の歴史を記す由緒書きを現代風にアレンジするという、神社の魅力をアピールするためのアイデア。

どのチームも、地域の課題を自分事として捉えた素晴らしい発表でした。審査は、アイデアの課題性、独創性、実現性の3観点で行われ、チームnatureが壱岐市長賞(最優秀賞)を獲得しました。



なお、チームみこーずは2学年の「総合的な探究の時間」にクラスの垣根を越えて編制したチームであり、その成果は「ながさき未来デザイン高校生SDGs推進事業」の『長崎を元気にするアイデアコンテスト』で最優秀賞を獲得しました。



コロナ禍を乗り越えて
第75回卒業証書授与式挙行



新型コロナウイルス感染拡大により、例年より2週間遅れの入学式を余儀なくされた75回生ですが、長いコロナ禍を乗り越え、3月1日(水)、無事に卒業式を行うことができました。在校生代表送辞では、2年1組の酒井陽菜さんが、苦難にもめげずに前向きな姿を見せてくれた先輩方を讃えました。また、卒業生代表答辞では、3年2組大桑早稀さんが、支えてくれた家族や地域の方々への感謝を述べ、将来故郷のために貢献することを誓ってくれました。



75回生、未来に向かって羽ばたけ!!

各学年団から

第 2 学 年 よ り

先日、75回生の卒業証書授与式が行われました。在校生は教室からのオンライン参加となりましたが、会場にいるようにしっかりと授与式の様子を観覧していました。在校生代表送辞の中で述べられた一文を紹介します。
『私は、人生は「天気」のように表すことができると思います。(中略)どんなに雨が降っても、どんなに雲が厚くても、必ず太陽はみなさんを照らし、晴れの日がおとずれます。みなさんはこれまで、壱岐高校を照らし、厳しい状況下でも希望を与えてくれる太陽のような存在でした。今後は私たちが、みなさんのように壱岐高校に光を与えられる存在になれるよう、在校生一同精進していきます。』この言葉には在校生の力強さを感じました。4月からも、3学年として学習、部活動、生徒会活動など多くの場面で壱岐高生として誇りを見せてくれると確信しています。保護者等の皆様、3年生になりましてもご支援、ご協力よろしくお願いたします。

第 1 学 年 よ り

高校に入学して早一年、“One Step”～自分で判断し決断できる生徒を目指して～を学年スローガンに掲げ、生徒たちは当初こそ中学校との違いや新しい環境に戸惑う場面も見受けられましたが、新たな仲間と共に、大いに学習に部活動に励んでくれ、大きく成長した一年となりました。また、今年度は一人で挑戦した探究活動でも課題発見から解決策の提案に至るまで、発想豊かに意欲的に取り組んでくれました。クラス代表の発表会では、ユーモアを交えながら堂々とプレゼンをしてくれました。さらに、多くの生徒が校外のイベントやボランティア活動にも主体的に参加して、多くのことを学んでくれました。来年度は中堅学年として、地域に愛される学校を目指し、学校をリードしていきます。

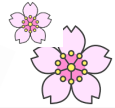
4 月 行 事 予 定

①1年 ②2年 ③3年
★土曜学習・学校開放

1	土		
2	日		
3	月	入学予定者OR 部活動紹介	
4	火		
5	水		
6	木		
7	金		
8	土		
9	日		
10	月	クラス発表 始業式 大掃除 入学式 前期学級自治委員選出(～13朝)	
11	火	面談 壱岐高テスト①②③ 離島留学生集会 第1回コース交流会	
12	水	面談 壱岐高テスト③ 校内研修① 尿検査1次(全学年)	
13	木	面談・個人写真撮影① 校内研修① LHR(生徒会議案書検討,文化祭テーマ検討)	
14	金	面談 校内研修①	
15	土	学校開放 スタサポ① 第1回公務員・ 就職模試(実教)③・公務員セミナー③	★
16	日		
17	月	部活動入部集会(16:10～) 身体測定・スポーツテスト	
18	火	心電図①(13:10@保健室)	
19	水	東7①埋文初顔合せ	
20	木	6校時：LHR(前期自治委員任命式・対面式) 各種専門委員会 耳鼻科検診①(13:15) 心電図予備日	
21	金		
22	土		
23	日		
24	月	内科検診②(13:15@保健室)	
25	火	眼科検診①(14:10～@保健室) 尿検査2次	
26	水	内科検診②(13:15@保健室)	
27	木	6校時：LHR(防災避難訓練) 尿検査予備	
28	金	耳鼻科検診①(13:15@保健室)	
29	土	【昭和の日】両校戦(～5/5)	
30	日		



今年度離退任される先生方




濱野正義 校長
佐世保西高校へ



森勇紀 先生
体育科
1-1 副担任
ソフトボール部
諫早高校附属
中学校へ



川富典子 先生
理科
3-1 担任
陸上部
長崎北陽台高校へ



尾嶋未来 先生
理科
3-2 担任
科学部・野球部
島原高校へ



重野稔貴 さん
事務室
壱岐商業高校へ



Shane Toomey 先生
英語科
サカイ英会話学校
(名古屋市) へ



岩永千尋 先生
家庭科
1-5 副担任
調理部・茶道部
産休



今まで本当にありがとうございました。
先生方のご健勝、ご多幸を祈念いたします。



東アジア歴史・中国語 コース

3年生の離島留学生を見送りました

親元を離れて、里親様のもとで暮らしながら様々なことに取り組んだ3年間を終えた離島留学生たちと、最後のお別れをしました。卒業式の後、クラスで保護者や里親様、3年間の苦楽を共にした仲間へ感謝の気持ちを伝えるその表情は晴れ晴れとしたものでした。夕方、郷ノ浦港に向かい、出発していきました。郷ノ浦港では島内の同級生や部活動、東アジアコースの下級生に多く見守られながら、名残惜しそうに壱岐を離れて行きました。同じ里親様のところでお世話になっていた後輩達が、先輩方の前途を祝してエールを送ります。離島留学生として3年間大変なことも色々あったと思いますが、きっとこの見送られる瞬間に壱岐の、そして壱岐高校へのイメージがさらに良くなっただろうと思います。それぞれの道で頑張れ、離島留学生!!



上海外国語大学オンライン学校説明会



東アジア歴史・中国語コース1年生を対象に、進路学習の一環として、3月13日(月)・17日(金)の2回に分けて、上海外国語大学オンライン学校説明会を実施しました。1回目は、ライブ中継しながら広大な大学内を案内していただき、2回目は、学部と専攻、入学要件、各種奨学金などについて丁寧に説明していただきました。生徒たちにとっては、留学についてイメージを膨らませるよい機会となりました。